

# 連帯・協同で安心・ 共生の福祉社会を

## 富士宮地区労福協が総会

富士宮地区労働者福祉協議会（小林純一会長）の2016年度第51回総会が5日、ろうきん富士宮支店会議室で開かれた。役員・会

員らが出席して新年度の活動方針などを決めるとともに、「連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくるろく」をメーンとする総会スロー

ガンを採択し、労働者家族の生活向上、平和で豊かな社会の実現などに向けた一層の取り組みを誓った。

開会に当たってあいさつした小林会長は「一部の人が多額の所得を得る社会ではなく、多くの人が安定した所得を得られる社会をつくること、平和



あいさつする小林会長

和につながる。頑張る人の努力が報われる社会であってほしいし、困っている人を助けることのできる組織として、今後も活動していきたい」と述べた。

来賓として出席した須藤秀忠市長は「景気の先行きは不透明だが、市として企業誘致による働く場の確保、安定した雇用創出のために努力し、安心して働くことのできる社会づくり、商工業など地域活性化に向けた施策を積極的に進めていきたい」として、引き続き支援・協力を呼び掛けた。

議事では、前年度の活動・会計報告を承認するとともに、新年度の活動方針・予算を決定し、小林会長らの再任を含む役員改選も行った。

活動方針では、基本理念に「労働者の福祉要求の実現を通じて、労働者家族の生活向上と安定を図り、真に平和で豊かな暮らしを保障する社会をつくる」を掲げ、▽自治体への行政要望・行政との連携▽未組織労働者に対する支援▽社会貢献活